

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No. 342

発行日 平成23年(2011年)11月1日

発行 武蔵野市議会

東京都武蔵野市緑町 2-2-28

TEL 0422-60-1883 (直)

FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 決算特別委員会審査概要 …… 2-3面
- 決算に対する各会派の討論 …… 3面
- 一般質問 …… 4-5面
- 議案の審議結果一覧 …… 6面
- 政府等への意見書 …… 6面
- 陳情審議結果 …… 6面

第三回 市議会定例会

第三回定例会は、九月五日から九月三十日まで開催されました。今議会では、十七人の議員による一般質問が行われたほか、平成二十二年度武蔵野市決算の認定についてなど十五件の市長提出議案、三件の諮問及び地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書など計二件の議員提出議案が審議されました。

平成二十二年度決算を認定

一般会計歳入は六百十八億円、
一般会計歳出は五百九十一億円

平成二十二年度の決算が九月三十日の本会議において全会一致で認定されました。

「平成二十二年度武蔵野市決算の認定について」と「平成二十二年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について」

て」の二議案は、二十日に設置された決算特別委員会に付託され、四日間の審査を行い、二十七日の委員会最終日

では質疑・討論終了後、全会一致で認定すべきものと決しました(二・三面に決算特別委員会審査概要を掲載)。

平和の日条例を可決

九月二十日の本会議で、「武蔵野市平和の日条例」が可決されました。

本市では、昭和三十五年(1960年)に世界連邦都市宣言、昭和五十七年(1982年)に非核都市宣言が議決され、平和への願いを発信するとともに、平成十九年度(2007年)から非核都市宣言平和事業に取り組んできました。

昨年五月に学識経験者や公募市民による平和施策懇談会を設置し、あらためて今後の本市における平和施策のあり方について議論を重ねてきました。

本条例は、平和施策懇談会の提言を踏まえ、武蔵野市に初空襲があった十一月二十四日を平和の日(11月24日)に制定し、戦争犠牲者の方々に哀悼の意を表するとともに、この日を中心として平和事業を推進することによって戦争の悲惨さを語り継ぐとともに、広く市民とともに平和への思いを共有し、次の世代にその尊さをつないでいこうとするものです。

本条例案は、九月七日の本会議で上程され、総務委員会に付託されました。同月九日の委員会での審査を経て、同月二十日の本会議では、総務委員長(報告)、二名の賛成討論が行われた後、採決の結果、全会一致で可決されました。

Photo Gallery

フォトギャラリー

写真募集中!

「夕日を飲み込む黒い雲」

撮影：江頭 明子 (武蔵野市)

場所：自宅のテラスにて撮影(2010年冬)

去年の秋の終わりごろより、今まであまり見たことのないただけしい黒い雲や、空いっぱい突き上げるような赤い雲が何本も立つ写真を撮り、地球をとりまく宇宙が変化しているのではと、一抹の不安を感じた。

今年の不意打ちの不幸を思い、やさしい空が戻ることを願う。





決算特別委員会の審査風景

決算特別委員会 審査概要

9月20日の本会議において、委員10名からなる決算特別委員会が設置されました。委員会では21日から4日間にわたり平成22年度決算の審査が行われ、27日の最終日に全会一致で認定すべきものと決しました。30日の本会議では、桑津昇太郎決算特別委員長が委員会での審査過程の報告を行い、討論終了後の採決の結果、全会一致で認定されました。

平成22年度一般会計及び5特別会計の歳入決算総額は877億9,900万円、歳出決算総額は849億900万円で、28億9,000万円が平成23年度へ繰り越されました。また、水道事業会計の収益的収入及び支出（消費税等控除後）は、収入34億6,971万円、支出33億8,004万円で、差し引き8,967万円の純利益となりました。

以下は決算特別委員会における審査の概要です。

総括

本年度決算について 市長の総括は

平成二十二年決算について市長は、どのように総括しているのか。
答 第四期長期計画・調整計画の実行に加えて、平成二十一年の十月に市長選挙があったので、そのマニフェストを反映させた。第三期武蔵野市環境基本計画の策定や、市民、議会、職員三者が力を合わせて組み立てていくというプログラムで、第五期基本構想・長期計画の策定をスタートしたことが成果であった。
平成二十二年の財政力指数一・五四七、公債費比率一・八％と、本市の財政は健全である。市民サービスを充実させるため、地方債を増やすなど積極的な予算を組んでほしい。
答 後年度負担や財源の観点から見ても市債をうまく活用したバランスのよい財政計画が必要であり、今後も必要に応じ、市債を有効に活用したい。

歳入

市民税徴収率悪化の理由と対策は

市税徴収率のここ数年来の悪化について理由と対策は。
答 リーマンショック以降徴収率の低下が続いている。市・都民のコンヒエンス取納等、納税しやすい環境を整え徴収率の向上に努める。また、課の体制を見直し、滞納繰越分の減少にも早い滞納整理を目指すという。三月の大震災以降日本全体で景気が落ち込んでおり、税収の低下が見込まれるが、本市の歳入で一番影響を受けるのは、国庫補助金、特に社会資本整備交付金も削減の見込みである。

総務費

海外青少年交流の積極的な取り組みを

海外青少年交流は、参加人数の拡大とともに、参加につながる仕組みを考えるべきではないか。
答 ホームステイ受け入れの問題により、限定的な人数だが、参加者拡充は今後検討したい。今後のコミュニティ形成のため、集合住宅やマンションの力も必要であるが、市の対応は、今後どう対応すべきか、福祉や防災の観点も検討したい。
答 第五期基本構想・長期計画策定に関する決算が予算の半額だが、不用額の内容は何か。
答 市民会議の開催から、市民参加で作成する個別計画を尊重する策定方法に変更したためである。
ブルーキャップの活動時間を一時間延長出来ないか。
答 防犯カメラのレベルアップを含めて、町ぐるみで今後のあり方を検討していきたい。
国勢調査の回収率が減少しているが、対策について何う。
答 ネット全般の周知徹底やインターネットによる提出の勧奨をしていきたい。
武蔵野プレイスの設置により、市民協働サロンが役割を再編したが、総括について何う。
答 今後武蔵野プレイスは市民活動の推進拠点、市民協働サロンは市役所との協働の場という

民生費

引きこもりサポートの事業内容は

機能分担をしながら連携したい。二年に一度の受診に変更したことの影響は。
答 子宮がん検診は受診率が上がったが、乳がん検診は下がっており、市報の特集号で大きく扱うなど啓発に力を入れている。特に子ども出入りするところは、放射能測定すべきでは。
答 施設責任者と打ち合わせで、測定の必要性を検討したい。クリイセンターは建て替えについてこれまでの振り返り。周辺住民の理解と協力の上で、基本計画策定委員会、施設周辺整備協議会を立ち上げ、市民参加により検討を進めてきた。

商工費

観光推進機構の事業の取り組みは

観光推進機構について、案内業務だけではなく、戦略的にさまざまな事業を行うべきではないか。
答 ファイルムコミッション等を通じ市の魅力を発信していく。これまでに三度発行したプレミアム付き商品券の効果と、今後の展望について何う。
答 一定の効果はあったが、地域への影響を考慮し、後はスタンプ事業や商店会への企画提案型補助事業を優先させたい。
市の補助金はまだまだ商店会中心だが、まちの活性化の担いは多様化しているのでは。
答 商業振興を幅広くとらえる必要性は感じており、今後支援のあり方を考えていきたい。
吉祥寺の特徴あるまちづくりを市長はどう考えているか。
答 多様な文化が集まっている。吉祥寺の魅力を生かし、多様性を重視したまちづくりを行う。

消防費

地域防災力向上のための取り組みは

地域の防災力を高めるための取り組みは。
答 三月十一日の地域での経験の踏まえ、来年地域防災計画の改定を行う予定である。
自主防災組織に対し、災害時の情報伝達をダイレクトに行う必要があるが、見解は。
答 避難所やコミセン等へ情報を集し、情報収集や発信の役割を担える体制を検討している。
被災地への支援について、本市の今後のかかりを何う。
答 ささまざまな支援を行う予定だが、後方支援を行う通りきと連携し、今後も本市が支援出来ることを考えていきたい。
課題である女性消防団員の募集についての現状は、

衛生費

乳幼児健診フォロークラスの課題は

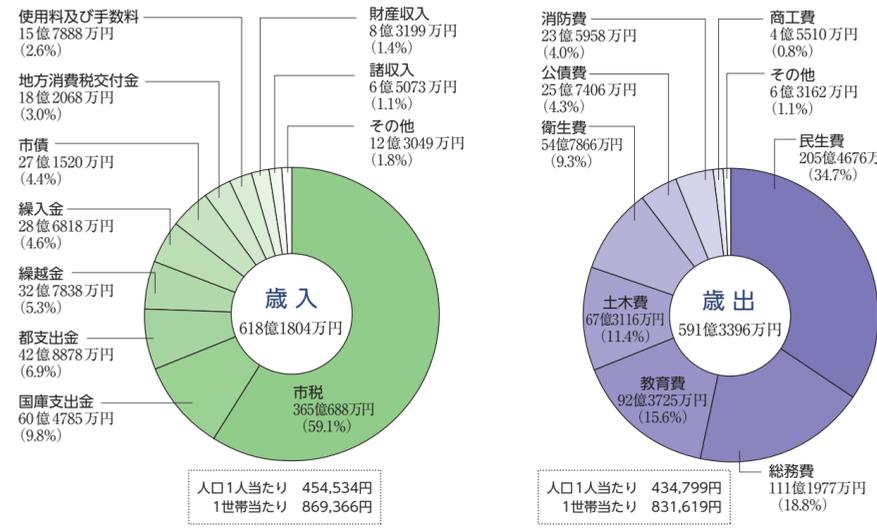
育児学級、幼児教室を健診フォロークラスに再編したが、その成果は経過してきているか。
答 健診後の経過観察に力を入れたフォロークラスで行うものであり、フォローとの連携により、早めに療育につながる事ができた。ハピネットについても、親のケアが大きな課題である。
太陽光パネルの、今後の公共施設への設置計画は。
答 小中学校への設置終了後に、そのほかの公共施設への設置を検討したい。
子宮がん検診、乳がん検診

土木費

駐輪場利用者の料金負担の考え方について

受益者負担率が低いことを

一般会計歳入決算の内訳及び歳出決算の目的別内訳



教育費

給食・食育財団の運営内容を問う

平成二十二年度は、本市の給食事業を一般財団法人給食・食育財団に委託した年である。財団運営の評価と課題は何か。
答 意思決定機関に専門家が入っている点とコストの低減が利点と考える。市の給食の技術的蓄積の継承が今後の課題である。
災害発生時における一時避難所としての小中学校の体制として、動員の訓練は行ったが、今後の教育委員会の職員による平日の災害発生時の避難所設置訓練を行う必要があると考える。
他市では生涯学習を市長部局に移す動きもあるが、生涯学習計画が始まった本市の生涯学習の方向性についての見解は。
答 今後市長部局と教育委員会、教育委員会としては学校教育と、これについてはあえて移管する

特別会計

合流改善施設の今後の取り組みは

吉祥寺東町の合流改善施設については、説明会を開いても住民には十分に納得いただけなかった。協議会を作り、工事と並行して話し合いをしたいとのことだが、そのイメージはどのようなものか。
答 工事期間中および設置後の問題に対して協議に応じることができるようにするための組織を提案した。
国民健康保険料が当初予算で見込んだ数値と二十％近く、かい離している理由は何か。
答 算定の基礎を見込んだ際の、納税者数の過大な見込みおよび景気の低迷などの要因がある。

水道事業会計 井戸の取水量減少の原因は

井戸の取水量が減少し、その分、東京都からの受水量が増しているが、その理由を何う。
答 水源3か所の水中ポンプが経年劣化のため緊急停止し、ポンプ交換の工事をしたこと、各水源の経年劣化などで約五万六千トンの減となったためである。

監査意見書

審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りはないものと認められた。
また、これに伴う会計事務処理は法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿及び証拠書類と符合し、計数は正確であると認められた。
厳しい財政状況のなかで、施策の優先度や緊急度を考慮し、徹底した事務事業の見直しと行財政改革の推進及び財源確保に努め、健全で安定した市政運営を持続されるよう要望する。
審査に付された決算諸表は、地方公営企業法等の他関係法令に準拠して作成されており、計数は正確で、関係諸帳簿と合致していることを確認した。
また決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。
監査委員 藤井 泉 小野 正二

決算に対する 各会派の討論

9月30日の本会議で決算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。各会派の構成は6面に掲載しております。決算特別委員会の詳しい内容は、インターネット議会議中継(アドレスを5面に掲載)または会議録でご覧いただけます。会議録は11月下旬以降、各市立図書館・コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナー、または市議会ホームページで閲覧できます。 ①平成22年度武蔵野市決算の認定について ②平成22年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について

市議会公明党
税金の使われ方について、透明性を高めよ
落合勝利議員
歳入は、個人市民税の減少、法人市民税、固定資産税等の増加傾向がある。原因を精査

むさしの未来
市民満足度につながる本市の将来ビジョンを明確にすることを期待
前田秀樹議員
東日本大震災の総括から浮かび上がった課題をしっかりと精査し、行政の第一の使

日本共産党武蔵野市団
市民の暮らしを支えるための積極的な負担軽減策を
橋本しげき議員
大企業の法人税の実質減税により、庶民だけが増税を強いられる中、市民の暮らしを支

市民の党
市内の議論の活性化と、議会の改革を求める
山本あつし議員
3.11以降、自治体がいりいな場所で選択を問われている。どうい道を選ぶにせ

市議会市民クラブ
ビジョン・戦略・人材育成 市長は市政を経営する姿勢を
与座 武議員
市民税増収のために「魅力あるまちづくり」を推進すべき。交流事業は意義を再確認

自由民主クラブ
今後の公共施設の再整備に備えよ
近藤和義議員
歳入では、大きな土地が減免対象の小規模宅地に細分化されるに伴う資産税の落ち

民主党・無所属クラブ
財政計画の公開と新たな価値観での自治体の将来像を
内山さとこ議員
各事業の着実な実施と適切な支出のあり方、中長期的財政見通しを視野に入れ審査に

よ、自分たちで判断し、変わっていかねばならない時代になった。
邑上市政の現在の方向性には賛成する。決算特別委員会の議論については、もう少し構成を絞って行いたかった。また、市内の議論の雰囲気や、自由関連までいかずとも、もう少しオープンな議論となることを希望する。何より、一番に変わらなければならないのは議会だと思う。

し活発に展開すべき。児童手当に戻った子ども手当を市長は評価していたが異議を発信しないのか。旧・富士高原ファミリーロッジが議会説明のないまま売却公告された。しかし売却益の一部を青少年健全育成の目的を継承する形で、子ども文化・スポーツ・体験活動活動として創設されたことは評価する。地域で活躍する青少年活動指導者の情熱にも応えてほしい。

込みへの方策が必要と考える。歳出では、突出した民生費を注視する必要がある。また、公債費比率を見ると本市の財政は健全と評価するが、近い将来の公共施設の更新は、市の命運を左右する大事業であり、さらに特別会計繰出金も多額であり、厳しい財政運営を想定する必要がある。また、水道事業では安定供給のため、東京都との一元化検討を要望する。

臨んだ。歳入の6割を市税収入が占める本市で、近年その徴収率と歳入に占める割合がともに低下していることは看過できない。事務事業・補助金の見直しに取り組んでいるにもかかわらず、補助金総額は2億4千万円以上増加した。協働型事業への転換等を図るべき。社会保障制度の見直しなど、今後の社会状況の変化に柔軟に対応する財政の自立性を高めるよう望む。

Yデーを回避せよ。 進化する自治体経営を問う

深田貴美子議員

- 問** 公共施設白書完成を受け、今後の市の自治体不動産活用の認識を問う。
- 答** P R Eの視点で、民間活力の導入も含め、自治体不動産の活用を図っていく。
- 問** 市有地の評価と台帳整備が必要では。
- 答** 土地の時価評価については、今後研究したい。
- 問** 動物の薬剤搬送のサプライチェーンを可能とする獣医師会との災害協定の進捗は。
- 答** 協定を締結し、ペットの防災対策、避難所開設の対策を考える。
- 問** 「境こども園」設立での教育委員会のかかわりを問う。
- 答** 教育課程づくりで、協力していく。

エネルギー対策の 展望について

落合勝利議員

- 問** 本市の新エネルギー利用の目標を問う。
- 答** 武蔵野市で考えられる再生エネルギーの基本は太陽光エネルギーだと考える。太陽光発電のさまざまな啓発をすすめ、環境基本計画の中でも構築していきたい。
- 問** スマートグリッド導入の課題は。
- 答** スマートグリッドは再生エネルギー源を組み込んだ場合に極めて大切だと認識している。今後の動向を見守っていきたい。
- 問** 元気な高齢者の健康増進や介護予防にボランティアポイント制度を導入しては。
- 答** ボランティアの理念を明確にした上で、地域通貨の取り組みも含めて、推進するための支援制度が必要と考える。

武蔵野プレイスの 活用について

西園寺みきこ議員

- 問** プレイスの帰宅困難者支援拠点としての位置づけと地下駐車場の活用法を問う。
- 答** 災害時トイレ10基を設置した。今後地域防災計画見直しの中で検討する。駐車場等は、9月までの状況をみて検討する。
- 問** 利用者懇談会について展望を問う。
- 答** 登録団体懇談会は11月、一般利用者懇談会はその後に行く。市外利用者も含め、青少年パフォーマンス発表会等を計画する。
- 問** N P O活動促進基本計画とプレイスの機能との関連について問う。
- 答** プレイスの市民活動支援機能は、N P Oや市民団体が活動することで「新しい公共」概念の具現化を目指すものである。

一般質問

第3回定例会では9月5日、6日、7日に、17名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、11月下旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第3回定例会分は11月29日登録予定）、インターネット議会中継（アクセス手順は5面下部に掲載しています）をご覧ください。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。



平成23年8月22日～28日、東京都特別区・市・町村議会議長会友好代表団の団員として、さくち太郎議長が北京市等を訪問しました。これは、特別区議会議長会、東京都議会議長会及び東京都町村議会議長会の共同事業として、友好代表団の派遣と受入を毎年交互に実施しているもので、視察や北京市区・県人民代表大会との交流が行われました。

子ども家庭支援センターの 今後を問う

斉藤シンイチ議員

- 問** 子ども家庭支援センターへの相談の増加に対し、専門的な人材を登用できないか。
- 答** 保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床発達心理士など専門的資格を持つ人材を任用し、虐待等の相談に対応している。
- 問** 福祉制度のはざまにいる生活困難者などが社会にかかわる仕掛けについて問う。
- 答** 地域包括支援センター等で制度の対象とならない方の相談を受けている。若者の支援では、引きこもりサポート事業がある。
- 問** こころのバリアフリー啓発事業について、福祉団体への呼びかけはしているか。
- 答** 現在、南町福祉の会と境南福祉の会での実施に向けた具体的な調整をしている。

学校図書館の今後について

川名ゆうじ議員

- 問** 学校図書館に新たなシステムを導入するだけでなく、機能を発揮するためには人材が重要と考えるが、市の見解を問う。
- 答** 司書の役割を果たす図書館サポーターの時間数をふやすことを検討し、システム更改後は機能を十分に活用するため、操作研修などの研修機能を強化していきたい。
- 問** 市民会館をより有効に活用するために、社会教育主事を配置すべきではないか。
- 答** 市民会館の中心事業は市民の自主的な学習の場の提供であり、社会教育主事による助言が必ずしも必要ではないと考える。このほか、学童クラブの土曜開所についての質問がありました。

高齢者医療の負担軽減を

本間まさよ議員

- 問** 2012年4月から後期高齢者医療制度が改定され、平均保険料が引き上げとなる試算がある。国、関係機関に値上げをしないよう意見書の提出を求めるべきではないか。
- 答** 必要に応じて、国や東京都に対して、要望・意見書の提出を考えていきたい。
- 問** 75歳以上の医療費について、一部医療費の負担軽減を求めるが市長の見解を問う。
- 答** 年齢のみを基準として無料化や軽減することは難しい。慎重を期すべきと考える。
- 問** 保険外医療費の負担など、高齢者医療費全般の詳細な実態調査を実施すべきでは。
- 答** 高齢者が医療にどう関わっているのか等、実態把握ができるよう研究したい。

武蔵境駅周辺の まちづくりについて

深沢達也議員

- 問** 武蔵境駅周辺のオリジナリティーを歴史と風土の視点からどうとらえているか。
- 答** 歴史的資源や緑豊かな環境、各種施設等の生活しやすい要素がコンパクトに集まった地域であるとともに、大学のある若々しいまちでもあると考える。
- 問** 由来や歴史ある境の貴重な資源を今後のまちづくりの中に、どう位置付けるのか。
- 答** うるおい、ふれあい、にぎわいという境のまちづくりのテーマに含まれている。
- 問** 桜橋から境橋付近までを、文化の芳香ある道として一体的に整備してはどうか。
- 答** 周辺施設と連携しつつ、玉川上水を最大限生かしたまちづくりに取り組む。

来年度予算編成の 基本方針について

山本あつし議員

- 問** 来年の予算編成基本方針を、秋の時点で示していただきたいが、市長の見解は。
- 答** 予算の透明化は大切であり、提案方法は議会と今後も意見交換をしていきたい。
- 問** 地域において、高齢者のみならず若者にまで孤立化が進んできているなど、社会のつながりの弱体化を感じるが、いかがか。
- 答** 単身世帯も参加しやすい、新たな地域コミュニティづくりも必要と考えている。
- 問** エネルギーと環境政策の総合的検討を進める体制づくりに対する市長の見解は。
- 答** 環境市民会議の設置に加え、さらに多様な市民参加のもと、さまざまな意見を吸収する仕組みを考えたい。

魅力ある市立小中学校 づくりに努めよ

小美濃安弘議員

- 問** 武蔵野市独自の教材・教科を作成するなど、本市ならではの教育を実践すべきと考えるが、見解を問う。
- 答** 「子ども武蔵野市史」を易しくして、発達段階に合わせ、小・中学生が文化・歴史に触れる時間が必要と考えている。
- 問** 学区域については、将来的には選択制まで視野に入れているのか。
- 答** 学校選択制導入の意思はない。
- 問** 市が株主となっている武蔵野三鷹ケーブルテレビが回線契約解除の際、利用者から手数料を徴収することについての見解は。
- 答** 市からは、利用者へ誤解のないよう誠意をもって対応するよう要請している。

介護保険等について

橋本しげき議員

- 問** 介護保険について、①法改正により新設される介護予防・日常生活支援事業はサービスの切り下げにつながるのではないか②介護給付費準備基金を活用して保険料を値上げしないことを求める③介護保険利用料5%助成制度は継続すべきではないか。
- 答** ①現時点で事業導入の考えはない②剰余額がある場合は、次期計画期間に繰り入れて保険料上昇の抑制に充てたい③事業の効果は認識しており、健康福祉総合計画策定委員会の議論などを踏まえて判断する。このほか、利用登録駐輪場制度の廃止と有料駐輪場制度の開設についての質問がありました。

スリムな行政の実現と、必要とされる 市民サービスの充実に向けて

蔵野恵美子議員

- 問** 「小さな政府」を目指していくのかどうか、市長の見解と市での取り組みを問う。
- 答** 組織や機構の見直し、職員定数適正化等に取り組んできた。今後も行財政改革を進めながらむだのない市政運営を行いたい。
- 問** 節電と市民サービスの拡大を目的とした市役所窓口の土曜日の開庁について問う。
- 答** 今後土日の対応についてよく検討する。
- 問** 学童クラブの土曜開所試行と、開所時間延長の可能性について問う。
- 答** 土曜開所は、今後開催される小学生の放課後実施推進協議会において検討する。閉所時間は、児童の帰宅の安全を考慮し、判断している。

ごみの減量等について 市の見解を問う

木崎剛議員

- 問** 食用廃油回収の回数、場所が、平成20年以前と現在で違ってきているが、なぜか。
- 答** 回収量が減少してきたことから48回から30回の回収にし、人件費等の効率化をしたものである。
- 問** 食用廃油回収には1リットル当たり60円を支払っているが、買い取りをする業者もある。また、バイオディーゼルの活用も検討をするべきではないか。
- 答** 民間業者の協力も考えるべき時期に来たと思っている。環境的にも大切な観点なので今後、よく研究したい。このほか、情報発信や武蔵野プレイス、シルバーパスについての質問がありました。

食品・土壌・落ち葉など 市独自の放射能測定の強化を

山本ひとみ議員

- 問** 給食食材の放射能測定について①食材使用前に検査結果を公表すべきではないか。独自の検査機械で対応すれば、すぐ結果が出る②検査品目を多くすべきではないか。
- 答** ①測定は専門機関に委ねるのが基本的な考えだが、件数が増えれば、費用対効果などの課題があるため、慎重に検討したい②これまでの生鮮食材の他、米、肉、果物なども対象としたい。
- 問** 災害時にペットを避難所に連れて行くことに関する説明とペットの救護体制は。
- 答** 同行避難は推奨していないが、大きな課題であり今後具体的な対策を検討したい。

新たな「スポーツ基本法」をうけて、 地域のスポーツ環境の一層の充実を

桑津昇太郎議員

- 問** 3駅圏のスポーツ施設の配置・拡充を積極的に実現すべきと考えるがいかがか。
- 答** 実現に向けて、地域全体の市有地の活用とあわせて、前向きに検討したい。
- 問** 地域スポーツを都市観光推進の手段とすべきと考えるが、市長の見解を問う。
- 答** イベント等で商店街を競技場に変えるなど、さまざまな事例を参考に検討したい。
- 問** 総合体育館等について、安心して利用できる維持管理が必要であるが、今後の改修計画について教育長の見解を問う。
- 答** 総合体育館の設備は、大型設備類の経年劣化が進行しており、中長期総合的な改修計画を検討する必要があると考える。

放射能汚染について

しばみのる議員

- 問** 原発事故の放射性物質の拡散による、低線量被曝の危険性についての認識を問う。
- 答** 市内の平均的な空間放射線量の測定値からみれば、現時点では、大きな影響はないものと認識している。
- 問** 外部被曝より死亡率が何十倍にもなる内部被曝の危険性について、市長の見解は。
- 答** 最新のさまざまな知見や情報の入手に努めながら、適切な対応を行っていきたい。
- 問** 市において、家庭菜園野菜や母乳をはじめ、検査機会の少ない食材の放射線量の検査を行う体制が必要ではないか。
- 答** 専門的な分析は専門機関に委託し、今後の状況を見定め、対応方法を検討したい。

改修後本会議場



地震（東日本大震災）のために本会議場の一部が損壊しましたが、改修工事が終わり、今定例会から通常どおり使用することができました。天井を全面改修し、耐震性能を高めるとともに、照明器具は吊り型から埋め込み型へ改修しました。また、メンテナンスや省エネルギーに考慮し、LEDを使用しています。

インターネット議会中継をご覧ください

現在、平成18年9月定例会以降の、本会議・決算特別委員会・予算特別委員会の模様を録画でご覧いただけます。
なお、録画は、生中継終了後3日程度（土・日・休日を除く）で、ご覧いただけます。

インターネット議会中継ホームページに
アクセスする手順 <http://www.musashino-city.stream.jfif.co.jp/>

武蔵野市ホームページから
→ 市議会 → インターネット中継

の順にクリックしてください。

携帯電話版ホームページのお知らせ

携帯電話で市議会からのお知らせをご覧ください。携帯電話版武蔵野市ホームページを開き、「市議会のお知らせ」をクリックしてください。

携帯電話版武蔵野市ホームページの
開き方

下記のURLを直接入力するか、
携帯電話でQRコード（2次元バーコード）を
読み取ってください。

<http://www.city.musashino.lg.jp/m/>



防災拠点として学校の バリアフリー化を

田辺あき子議員

- 問** 震災を受け、避難所となる学校について、①障害者や要介護者の受け入れ体制の整備②エレベーター設置等のバリアフリー化を至急行うべきと考えるが、見解を問う。
- 答** ①大きな課題であり、避難所の運営組織とも議論し、必要な対応を取りたい②さまざまな改修の機会等にあわせて整備する。
- 問** 罹災証明の迅速な発行等を行う被災者支援システムを導入すべきだ。市の見解は。
- 答** 極めて有効だ。導入に向け検討する。
- 問** グループ保育事業への保育助成金の適用を求めるが、市の見解は。
- 答** 他のさまざまな助成金との整合性を考えながら今後検討したい。

終の住みかたと支えあいの コミュニティを

内山さとこ議員

- 問** 公共性が高く安心できる住居を求める高齢者が多いが、①さまざまな社会資源・人材を連携させ、きめ細かな課題解決を図る体制を整備する考えは②持続可能なコミュニティづくりのため、公共性の高い住宅や公共施設等を一体整備すべきでは③24時間体制の施設がない市中央部に、公的財産を活用したケア付き住宅やアウトリーチ機能を持つ福祉拠点を整備すべきでは。
- 答** ①人材育成等は市の役割であり、全市的な地域支援のネットワークを作りたい②民間が複合的な施設整備を行う際は市としても支援したい③当面現体制を継続するが今後については地域福祉計画等で議論する。



平成23年7月30日、友好都市の長野県安曇野市で「第32回あづみ野祭り」が開催され、本市議会の土屋美恵子副議長が開会式に出席しました。

議案審議結果(議決)一覧

第3回定例会

【市長提出議案(15件)】

- 武蔵野市平和の日条例 可決(全会一致)
※「武蔵野市平和施策懇談会」の提言を受け、戦争犠牲者に哀悼の意を表し、武蔵野市民として平和の大切さを改めて考えることを目的として制定するもの。
●武蔵野市市税条例等の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、所要の改正をするもの。
●武蔵野市学童クラブ条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※本宿こどもクラブの学校内移転に伴い、所要の改正をするもの。
●武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※排水設備工事責任技術者登録の広域化に伴い、所要の改正をするもの。
●武蔵野市奨学金支給条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※奨学金の支給対象となる学校に高等専門学校等を加えるなど、所要の改正をするもの。
●武蔵野市庁舎衛生配管更新及びトイレ改良等工事請負契約 可決(全会一致)
※市庁舎トイレ、給湯室等の配管工事。4億2840万円。
●平成23年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回) 可決(全会一致)
●平成23年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
●物損事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について(二件) 可決(全会一致)
※武蔵野市の施設の敷地内において桜の木の枝が折れ、駐車中の車2台に接触した物損事故に係る損害賠償の額の確定及び和解をするため、提案するもの。
●平成22年度武蔵野市決算の認定について 認定(全会一致)
●平成22年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について 認定(全会一致)
●武蔵野市長期計画条例
※長期計画の位置づけ、基本理念等の議決等を条例化するもの。
※総務委員会で審議されましたが、継続審議となりました。
●武蔵野市環境基本条例の一部を改正する条例
※厚生委員会で継続審議となりました。
●武蔵野市まちづくり条例の一部を改正する条例
※建設委員会で継続審議となりました。

【諮問(3件)】

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて… 異議なし(全会一致)
※人権擁護委員、河北祐子氏の任期満了に伴い、再度候補者として推薦することについて議会の意見を求めるもの。
●人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて… 異議なし(全会一致)
※人権擁護委員、吉安晶子氏の任期満了に伴い、再度候補者として推薦することについて議会の意見を求めるもの。
●人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて… 異議なし(全会一致)
※人権擁護委員のうち、任期満了となる委員の後任として、西上原節子氏を候補者として推薦することについて議会の意見を求めるもの。

【議員提出議案(2件)】

- 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書 可決(全会一致)
●私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する意見書 可決(全会一致)

政府等への意見書

地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書

現在、国による地方消費者行政の充実策が検討されているが、他方で地域主権改革の議論が進む中で、地方消費者行政に対する国の役割・責任が不明確となることが懸念される。

よる人的体制強化等継続的な経費への活用にはおのずと限界がある。したがって、国は地方消費者行政充実のために継続的かつ実効的な財政支援を行うべきである。

あわせて、国は、小規模な市町村がよりスムーズに消費者行政の強化を行うことができるよう、都道府県と市町村とが広域的に連携する取り組みを推進するなど、地方自治体にとり取り組みやすい制度設計を具体的に示すべきである。

さらに、消費生活相談窓口を現場で担っている消費生活相談員の地位・待遇も、期限付きの非常勤職員

の扱いが大半であり、その地位の安定と専門性の向上を図ることが困難な状況にある。また、その待遇も、消費生活相談業務の専門性に見合ったものとはいえない。住民が安心して相談できる消費生活相談窓口を実現するためには、消費生活相談員の専門性の向上とともに、その地位の安定、待遇の改善に向けた制度の整備も重要である。

よって、武蔵野市議会は、国に対し、地方消費者行政の支援のため、左記事項を強く要請する。

一、国は、地方自治体の消費者行政の充実に関する基金等の延長も視野に

入れつつ、一定の幅を持たせながらも使途を消費者行政と明示した継続的かつ実効的な財政支援を行うこと。

二、すべての地方自治体が身近で専門性の高い消費生活相談窓口を消費

者へ提供するという観点から、国は、あるべき相談窓口の姿について一定の目安を提示するとともに、これを単独で実現することが困難な小規模自治体も多数存在することから、都道府県と市町村とが広域的に連携して相談窓口を設置する方策など、地方自治体にとって利用しやすい制度枠組みを提示すること。

三、消費者が安心して相談できる消費生活相談窓口の充実・強化を図るため、相談を担う専門家である消費

生活相談員を含め、常勤はもちろん非常勤の立場であっても、専門性に見合った待遇のもとで安定して勤務できる専門職任用制度の整備を行うこと。

私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する意見書

国民のひとしく教育を受ける権利は憲法に認められたものであり、児童生徒は、自分の個性に合った学校を選び、学習する権利があります。現代

は、国際化と価値基準の多様化が進み、次の世代を担う児童生徒には個性を伸ばすための教育の重要性が指摘されています。それぞれの建学の精神に沿い、独自の教育を展開している私立学校が、こうした意味でも求められていきます。また、いろいろな理由から一般の公立学校に入りたくない児童生徒もおります。身体的・知的なハン

ディキャップから、よりきめ細かな教育を望む場合にも、私立学校が大きな役割を果たしてまいります。

しかしながら、社会経済はまだ低迷を続け、私立小・中学校に就学させている保護者にとつての学費負担は著しいものとなっております。法もとの平等の原則からも、児童生徒に十分な教育を受けさせる意味からも、教育費助成の重要性がうかがえます。

貴職におかれましては、上記の実情を御考察され、私立小・中学校就学者に対する教育費の助成措置を講じられるよう強く要望します。

(内閣総理・総務・財務・文部科学大臣、東京都知事あて)

平成二十三年九月二十日、本会議で左記の事項についての行政報告がありました。

●三鷹駅北口駅前広場の暫定整備について

行政報告

全員協議会

以下のとおり、全員協議会が開催されました。ホームページの会議録の掲載について、速報版は11月7日から、正式な会議録は12月6日から掲載する予定です。

- 武蔵野市第五期長期計画(計画案)について(10月5日)

陳情 審議結果

- 採択
地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の提出に関する陳情(※)
境こども園(仮称)建築計画における境幼稚園の園庭規模と幼児教育環境の確保に関する陳情(※)
武蔵野市内在住の私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する陳情
●意見付き採択
ムーバス吉祥寺北西循環(二号路線)運行時間延長に関する陳情(※)
(意見)陳情の趣旨に沿うよう努力されたい。
●不採択
JR三鷹駅北口を三鷹駅武蔵野口に改名することに関する陳情(※)
委員会中に当該議員が外部の議員とメールでの送受信を可能とする無線LAN導入の可否を決める検証の情報公開に関する陳情(※)
●継続
すべての原発の廃止についての国への意見書提出に関する陳情(新規)
放射能被害から子どもを守るためのヨード剤の

(※)は継続審査となっていたものです。

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、今後の議会活動の一つの基盤となります。
※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

Table with 4 columns: Club Name, Phone Number, and Member Names. Includes groups like 自由民主クラブ, 市議会 市民クラブ, むさしの未来, 市民の党, 民主党・無所属クラブ, 日本共産党武蔵野市議団, 市議会公明党, and 会派に属さない議員.

議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。
TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555
メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp
市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/

1面写真募集要領(次回の締め切り1月10日)

- 内容: 武蔵野市内の風景(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。応募者自身が撮影した、未発表のオリジナル作品(カラー)に限ります。
●規格: ①紙焼きの場合 ・サイズ 六つ切り ②デジタルデータの場合 ・ファイル形式 JPEG形式 ・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上 ・ファイルサイズ 2MB程度まで(2MB以上になるとメールが受信できない場合があります)
●審査: 議会広報委員会が審査します。
●発表: 採用された作品は、2月1日発行の市議会だよりに掲載します(賞品等はありませんのでご了承ください)。
●著作権: 作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、市議会だより掲載後6か月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
●期限: 1月10日(火)当日消印有効
●応募方法: 撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記の上、下記あて先までご応募ください(作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります)。
●あて先: 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで(CD-R等、各種メディアでの送付はご遠慮ください)
●問い合わせ: Tel 0422-60-1883